

福岡市における麻疹届出症例からのウイルス検出

保健科学課 梶山 桂子・古川 英臣・宮代 守
佐藤 正雄

第 54 回日本臨床ウイルス学会

平成 23 年～24 年に麻疹届出症例 48 名の麻疹ウイルス PCR 検査を行ったが、全て陰性であった。そこで、原因ウイルスを明らかにするため、麻疹と類似の症状を起こす風疹ウイルス (RV)、ヒトパルボウイルス B19 (PVB19)、ヒトヘルペスウイルス 6 型, 7 型 (HHV6・7) についてマルチプレックス PCR 法により病原体の検出を行った。その結果, 23 名は RV, 10 名は PVB19, 18 名は HHV6・7 が陽性であった。そのため, 麻疹届出症例には, 実際には麻疹でない症例が多数含まれていることがわかった。特に RV が多く検出されており, 風疹との臨床鑑別の難しさが窺われた。